

観桜会に出席して

茅ヶ崎市 野田ヒロ子（本町六丁目出身）

この度は桜の木のオーナーで成長振りを一目見たい母と観桜会初参加の妹夫婦と義妹で参加する事になりました。車窓から残雪の妙高山を眺め乍ら気分は上々、薄暮の会場に到着しました。心暖まる歓迎を受け輪の中に入れて頂きました。故郷の山菜の数々あさみの佃煮の作り方を聞き乍らしばみ舌鼓みです。心の込めた手料理を御用意下さった方々、大変有りがとうございました。気持ち一緒に頂戴しました。美酒に酔い乍ら夜桜見物これ以上の贅沢はありません。その後わどり湯ったり村へ。

翌朝は小雨模様、朝食の前、かたくりの花を覗に裏山を散策。小学生の頃雪解け間近い春の山に遠足に行った時の事です。雪の間にピンクのかたくりの花を見つけた、あの時の感動そのまゝ、ふるさとは有りたいですね。

朝食もそこそこにマイクロバスで埋蔵文化財センターへ。埋蔵文化センターでは館長さんの楽しい解説に魅せられました。開放的なスペースと作業もオープンになっていて、とても身近な感じがしました。私は陶芸が趣味ですが、器は特に興味津々、安土桃山時代の「織部御用徳利」は見事なものでした。次に訪れる時新しい出土品に会えると思うと自分のルーツに辿り着く気がして楽しみが増えました。一番楽しみにしていた桜の木オーナーの苗木会場に着きました。そこには、母の名前が刻まれたプレートがかかり、小さい乍ら可愛い花を付けていました。母は大満足、桜を囲んでの撮影は良い思い出になりました。岩の原葡萄園の白ワインは格別な味わいでした。

今回の観桜会では、最後迄時間を延長して熱く語って下さった木浦市長さん、

夢を頂きました。故郷の発展は私達の誇りです。関係者の皆様大変お世話になりました。夜桜を愛でる心、少し分かった気がします。機会が有りましたら、また、参加したいと思っています。

なごり雪 踏みしめのぼる 山はだに
ほのかに揺れる かたくりの花

（玉井輝二母）

